

## 所管事務調査

### (コロナ社会の地方創生について)

- スーパーシティ構想に係る北九州市の応募内容の概要 . . . 別紙1  
(参考：スーパーシティ構想のスケジュール)
  
- ・ 先端技術実証・実装フィールドの詳細 . . . 別紙2
  
- ・ 先端的サービスの詳細 . . . 別紙3

近代日本の産業革命の地

# 北九州市・東田 Super City for SDGs 構想

---

「世界の環境首都づくり」を礎とし、デジタル先端技術を駆使することで、  
環境・経済・社会の好循環によるSDGsの加速化、脱炭素社会の実現を目指す



# スーパーシティ応募区域「東田地区」

## 【東田地区の概要】

日本製鉄(株)工場跡地を、持続可能なまちづくりを目指して開発

○住所：北九州市八幡東区東田1～5丁目 ○面積：約120ha

○居住人口：約1,600人(2021年3月末時点)

○観光客数：約71万人(2019年次 北九州市観光動態調査)

○年間来街者数：約1,000万人



- メディアパーク  
北九州e-PORTの拠点として、データセンター、コールセンターをはじめとするICT系業務施設、医療施設、商業施設等が複合集積。
- タウンセンター  
幅員100mのシンボル空間、東田大通り中心に大型商業施設が集積。
- ミュージックパーク  
市SHINE博物館構想の下、学習・遊び・環境の拠点を一体的に整備。
- アーバンレジデンス  
多世代混住と環境共生を目指した住宅街区。
- ベイフロントパーク  
洞海湾に面した立地を生かし、親水緑地や交流・レジャー施設、天然温泉施設、結婚式場などを整備。

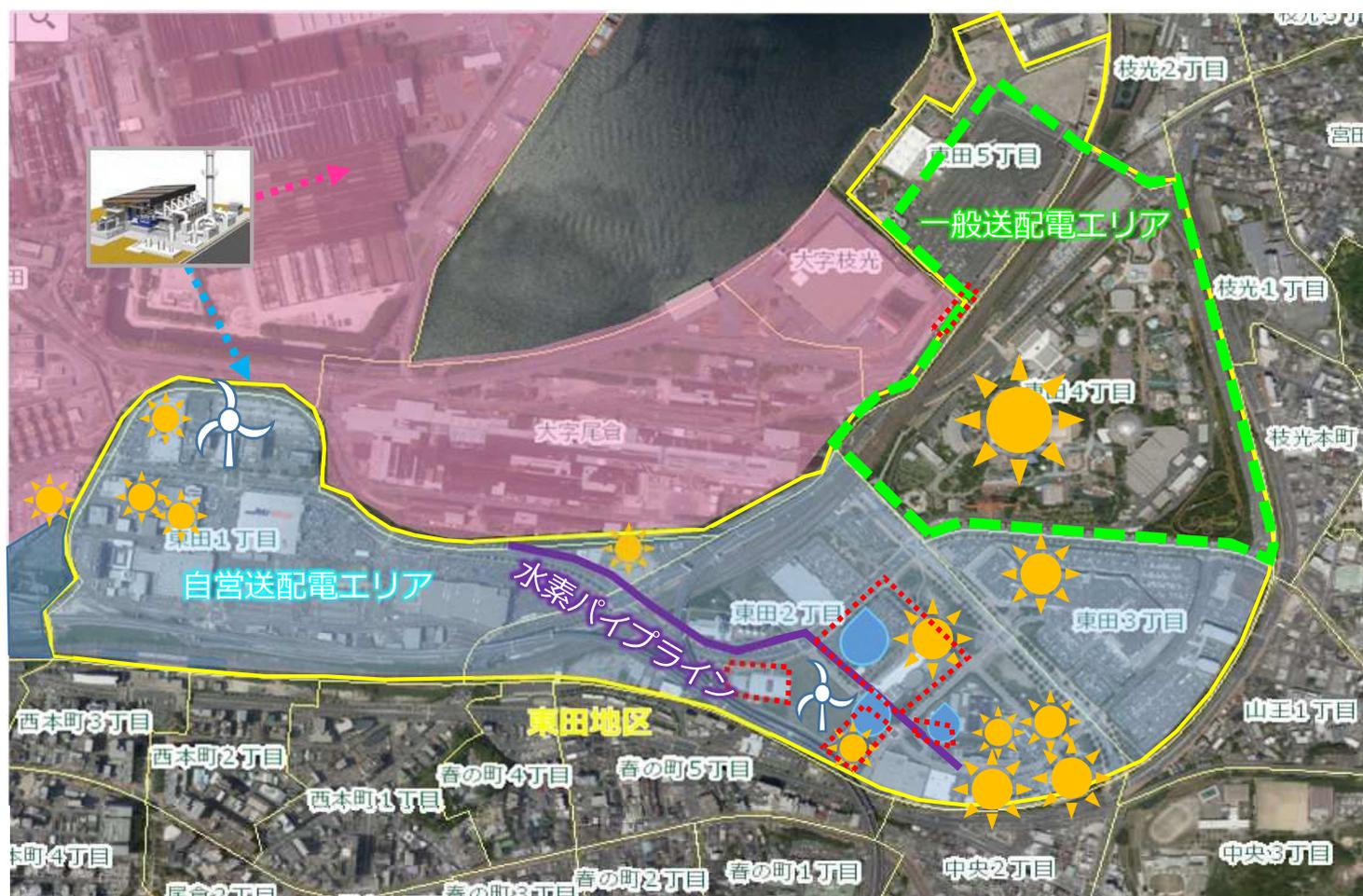
(出所：日鉄興和不動産HPから抜粋・一部加筆)

# 東田地区のインフラ【低・脱炭素社会へのエネルギーインフラ】

## 低・脱炭素社会の実現に向けた高いポテンシャルを有するエネルギーインフラ

特区活用先進地区

産業圏から生活圏へのエネルギーシェアリング (2003年～ 構造改革特区)



天然ガスコジェネ発電所

- 生活圏への電力供給 (自営送配電網) エリア
- 産業圏での熱供給エリア



太陽光発電



風力発電



燃料電池



2022年春開業予定  
THE OUTLETS

〈(仮称)八幡東田プロジェクト〉

RE100に参画している  
イオングループで最大クラスの  
太陽光発電パネル設置を計画中



「環境ミュージアム」「新科学館・分館」  
「いのちのたび博物館」  
「官営八幡製鐵所旧本事務所・眺望スペース」

「2025年度北九州市公共施設の  
再エネ100%電力化計画」に基づき  
RE100へ

# 東田地区のインフラ【デジタルツインの基盤となる高精度3次元地図】

北九州市の地域企業と連携し、東田地区のデジタルツインの基盤となる「高精度3次元地図」を活用！



○現実空間のセンサー、IoTにより、「ビッグデータ」を、サイバー空間に集積

○サイバー空間において、ビッグデータと「高精度3次元地図」を連携させ、人工知能（AI）が解析を実施

(公社)  
無人機研究開発機構

ローカル3D  
地図の製作



現実空間にフィードバックし、先端技術の実証・実装、高付加価値サービスを提供！